

平成18年12月1日
立山黒部貫光株式会社

立山黒部アルペンルート営業概況（速報）

（平成18年4～11月：立山～扇沢間）

立山黒部アルペンルートは、去る11月30日を持ちまして、本年の営業を終了いたしました。

なお、期間中（平成18年4月10日～11月30日）の、立山黒部アルペンルートへの入込人員は、富山側入込人員517千人（対前年100%）、大町側入込人員506千人（対前年102%）、合計102万3千人（対前年101%、貸切バスを含む）でした。

<営業概況>

今シーズンの入り込み客数は、シーズン始めの「雪の大谷ウオーク」イベント（4月・5月開催）が定着したことで好調なスタートとなりました。その後、天候不順により7月の入り込み客は減少いたしましたが、8月に入り天候が安定し、客足が大幅に伸びたことにより、入り込み客数は8月末で昨年並みに取り戻しました。

また9・10月の紅葉期につきましても、10月上旬を除き、ほぼ順調に推移したため、シーズン全体では昨年を若干上回る成績で終了いたしました。

今シーズンの主な特徴として、国内旅行客は、7月と10月上旬の天候不順により、入り込みは昨年を1万2千人（前年同期比99%）下回り、93万1千人となりました。

一方、訪日旅行客は、中部国際空港並びに富山空港を利用した旅行商品が人気を呼び、またシーズン通しての営業・宣伝活動が功を奏した結果、特に台湾、韓国等の東アジアを中心とする海外からの入り込みは、昨年を1万8千人（前年同期比125%）上回り、全体の訪日旅客数は9万2千人となりました。

<参考>

昨年の立山黒部アルペンルートの営業日並びに入込人員

営業日：平成17年4月10日～11月30日

入込人員：101万6千人（内、海外から7万4千人）